

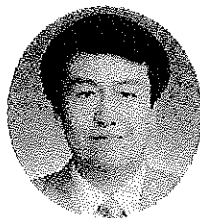
## 理不尽が許せない ①

司法書士 飯島英規

土地や建物の名義を愛するべきの代書屋さん。そんなイメージの強い司法書士事務所。そんな風景が一変した。「貧乏が許せない！」多重債務被害者を救う連絡協議会全国会議の副会長を務め、あの高名な宇都宮健児弁護士とも親しいYさんが、

ご縁でうちの事務局に座って頂くことになったからだ。「理不尽が許せない」議員時代から培った反骨精神が、Yさんの波長と共鳴し、推定20万人とも言われる、未だ埋もれた、声を上げることの出来ない、多重債務者

の援護活動に私を駆り立てることになったからだ。思い起せば議員時代。定数26分の1議員としての限界に悩み、1分



飯島さん

の1で出来る仕事(資格者としての仕事)へと転身したのが4年前。議員としての議会活動は価値のあることだが、それ以外の活動、とりわけ選挙運動はあまりにも非人間的、人間性をすり減らす活動。市民代表の議員の

自覚をもって日常活動に精力を注いでも色眼鏡で見られ、票狙いのパフォーマンズ、だと蔑まされる日々、そこに感謝は生まれぬ。しかも政治は生活の全て、全方位に光を当てなければならぬ。今もその現実の中で戦っ

## 格差社会の現実

### 弱者食い物社会是正を

ている数少ない市民派の議員たちには心から賛辞を送りたい。

全方位に光を当てる表舞台からはやむなく退いたけれども、社会の片隅にいて、一隅を照らすことは出来る。貯蓄ゼロ世帯は23・8%(貯蓄中央

委員会平成17年度)。個人で貯蓄がゼロではなく、世帯で、しかも約5世帯に1世帯は、貯蓄がゼロという現実。人生で何か事が起これば、即資金ショート。貸金業者による無担保無保証の消費者向け貸付、貸付残高約14・

莫大な利益を上げ続けてきたという歴史。一方で中高年の多重債務による自殺者の急増。警察庁発表平成17年生活経済問題による自殺者数7756人。強者が、無知に乗じて、弱者を食い物にしているという社会構造。借りたものは返さなければならぬ、借りたほうが悪い、という単純な道徳観を振り回すだけでは、この社会問題に対する処方箋にはならない。

そんな思いを抱きつつ執務を行うある日、私の事務所にて、自営業のお父様と共に30代後半、独身の男性Xさんが訪れた。次回へ続く。

2兆円、利用者数、約1400万人、少なくとも国民の8・5人に1人はいわゆる消費者金融の利用者(平成19年1月29日金融庁資料より)。サラ金・クレジットの貸付金利は、ほとんどが違法金利(利息制限法違反)で

## 理不尽が許せない ②

司法書士 飯島英規

借りたものは返さなければならぬ、借りたほうが悪い、という単純な道徳観を振り回すだけでは、多重債務問題に対する処方箋にはならない。

そんな思いを抱きつつ執務を行うある日、私の事務所に、自営業のお父様と共に30代後半、独身の男性Xさんが訪れた。

聞くと、お父様が、悪質電話リース業者にたまされ、さらに資金繰りで商工向け金融業者から高利の借り入れを起こしてしまい、支払えず、業者から訴訟を起こされ、ほおっておいたところ、自宅兼作業場の土地建物を

差し押さえられ、競売にかけられている、この事。しかも私の事務所に相談に来るわずか数日前に、お父様に取り立てに来た金融業者に詰め寄せられ、

こんな人達が悪質業者の被害にあわなければならぬのか…。そんな憤りを感じていたその時、Xさんの目にこらえきれない涙が…。人はよほどのことがなければ人前で涙を流すことはありません。ましてや初対面の人間の前では。それは父と母を

もいから、とにかく喧騒から逃れ、心静かに3人で暮らしたい…。心の叫びでした。人は借金に追われると、まず思考を失います。そして次に視界を失うのです。視界を失うという事が私には想像できなかった。「空が青いことに気がつ

人達が、全国に200万人以上いる、という事なので。市議会議員経験者として、行政と議会に思いを馳せ、そこに属している個人に焦点を合わせた時、かたや公務員は生涯安泰、かたや議員は高い報酬と権力的地位、大いなるぬるま湯状態の中、彼らに座しては、真実は届きません。しかもその現場の中にいる人は、声も上げられないのです。

## 多重債務に関する処方箋

### 法律専門家になって見えたこと

Xさんは連帯保証の契約書にサインをしてしまったという事。本当に地道に正直に生きてきたというところが、その言葉と物腰から、うかがい知れるお父様。そのご長男だけに、Xさんはいかにも誠実な真面目な人柄。なぜ

思う純粹な涙でした。「取立ての電話におびえ、夜も眠れない母。病に倒れその後遺症を抱えながら、子供たちに迷惑はかけられないと、何とか仕事を続けようとする父。父母を思うと、最悪を覚悟し、財産を全て失って

かなかった。「山並みがこんなに美しいとは思わなかった。」ある被害者の会、債務整理にめどが付き、日常をやっと取り戻した経験者の言葉でした。これが現実なので、こんな思いで、声をあげることすら出来ない

法律専門家になってわずか3年、私の驚きは、25年以上もこの問題に取り組んできたボランティア団体が桐生にあったという事です。次回続く。

## 理不尽が許せない

③

司法書士 飯島英規

法律専門家になってわずか3年、私の驚きは、25年以上もこの問題に取り組んできたボランティア団体が桐生にあったということです…。

それが桐生ひまわりの会。いまや20人に及ぶ弁護士・司法書士が、協力専門家に名を連ねています。私もその一人として月に数回ボランティアで相談会・例会に参加しています。ひまわりの会というのは、専門家ではない、価値ある活動をしています。何といっても、ひまわりの相談は、何回相談しても無料です(要予約)

⑤(一四〇〇)。相談時間は平日午前10時から午後6時まで毎日相談が受けられます。しかも毎週金曜日は夜間相談(午後7時から9時)もあります。

相談員は、自ら多重債務の辛酸をなめ、そこから生活を立て直してきた経験者がほとんどです。経験者ですから、相談に来る人達の苦労や思いが良く分かります。「敷居の高い」専門家の相談とは決定的に違います。また

目的も違います。専門家の目的は、報酬を得て、多重債務を法的に解決することが中心です。ひまわりの目的は、多重債務者の背景をさぐり、その生活を建て直すことです。借りた自分に責任はなかったのか、きちんと自分に向き合い、生活を

改め、二度と多重債務に陥らない生活を目指します。そのための研修会や他の人の体験を聞く月例会も毎月開催されます。K党系。人は何かを色眼鏡で見たりします。私も市議会議員時代、K党市議の質問によく登場し

たひまわりの会を、K党の支持拡大のための傘下組織と思っていました。人の誤解は恐ろしい。多重債務の現場に立ち、ひまわりの会を25年にわたって支えてきたI弁護士にふれあい、現場で汗を流してきたYさんと出会い、その認識は変わりました。

市議会議員時代、多くの同僚市議とともにK党と対立関係にあった私が言うのですから間違いないかもしれません。思考と視界を失い、社会に埋もれる多重債務の現場、その現場の悲鳴は座しては行政に届か

## 多重債務の被害者を救う

### ぐんまクレジットサラ金問題対策協会

ない。宇都宮健児弁護士を頂点にいたたく、専門家集団・全国クレジットサラ金問題対策協会、その群馬版が昨年発足しました。ぐんまクレジットサラ金問題対策協会。弁護士・司法書士・被害者の会を包含し、多重債務の被害の予防と救済活動、適切な法規制、消費者教育のあり方についての調査研究および提言を行う。I弁護士が代表幹事、私も幹事に名を連ね、地方の実情に合わせた政策提言を、行政を行う体制が、やっと整いました。次回続く。

元桐生市議会議員 司法書士 飯島英規(桐生市川内町2)

# 理不尽が許せない ④

司法書士 飯島英規

ぐんまクレサラ対協。

「弁護士が代表幹事、私も幹事に名を連ね、地方の実情に合わせた政策提言を、行政に行う体制が、やっと整いました…。」

借りが悪い、どうせギャンブルや浪費だろう…。この色眼鏡が美相を曇らせる。選択肢がない以上、生活破綻金利(利息制限法違反金利)で借りざるを得ない。真面目な人ほど、返し続けようとする。そして色眼鏡が多重債務者を孤立化させ、相談先も分からず、最悪の選択(夜逃げ・自殺等)に入っていく…。

この連鎖をよめるには、世の中に実情を理解してもらわなければならない。

1時間、時間をくれれば、無償で、多重債務の

実情と債務整理の手法について講演をします。連絡を下さい。そして理解して下さい。借金は必ず解決します。85人に1人、身近にいて、声を出せずに、孤立化している消費者金融利用者に手を差し伸べて下さい。違法金利(グレーゾーン金利)は3年後になくなり

## 1人で悩まないで下さい

### サラ金クレジット無料相談を開設

会に導いてあげて下さい。

平日、毎日多重債務の相談に乗ります。もちろん無料です。「敷居を低く」を心がけ、Yさんと私が交代で携帯を持ちます。

ほとんどが平日昼間のみの相談です。しかし日曜仕事と借金に追われ続ける多重債務者にとって使えない。そこでYさんと話し合い、使い勝手を良くするため、朝8時から夜7時までの相談電話を、私の事務所独自で開設する事にしました。

個人でお金を貸してくれといわれたら、お金を貸すのではなく、知恵を貸してあげて下さい。弁護士・司法書士・被害者の

策本部を設置し、今後、全国の市町村に、多重債務専門の相談窓口を設けることになりました。成果は日々努力から…。

私も日々精進…。一人で悩まず、まずはご相談下さい。

腕の始めよ。理論・理屈よりも、現場で汗をかき、28歳から42歳まで、約15年間政治の世界にいた、私の信条です。弁護士会・司法書士会・消費生活センター・市民相談、内閣官房に多重債務者対

司法書士法人「リーガル・パートナー」代表司法書士・飯島英規

事務所 桐生市浜松町1-6-30 ☎016-3311-6011

生活センター・市民相談、内閣官房に多重債務者対

サラ金クレジット無料相談電話 ◆080-1332-16011

政府もやっと重い腰を上げました。昨年12月、